

指導方法等の改善計画について〔国語科〕

坂町立坂中学校

全国学力・学習状況調査 本年度正答率

本校	広島県	全国
68%	65%	64.6%

全国学力・学習状況調査 正答率と本年度の結果について

- ・国語の教科全体の正答率は 68%であり、全国や広島県の平均正答率を約 3 ポイント上回った。国語の基礎的な学力は概ね定着している。
- ・「敬語」の理解に関して課題がある。「当日は開始時刻の 10 分前に行く予定です。」の「行く」を、「伺う」「参る」等の適切な敬語に書き直し、その敬語の種類として「謙譲語」を選択する問題において、全国の正答率を 4.2 ポイント、広島県の正答率を 1.6 ポイント下回っていた。
- ・問題形式では、記述式の平均正答率が、他の短答式や選択式に比べて 63.9%と低く、書くことに課題がみられた。

重点課題

- ・「敬語」の理解に関して課題がある。「行く」の謙譲語として「行かれる」という誤答が多くみられた。「伺う」「参る」という謙譲語を日常生活であまり使用しないため、適切な敬語に書き直すことに課題があったと考える。また、動作主が「私」であるにも関わらず、「私」という主語が問題文に省略されているため、動作主を認識できず「謙譲語」を選択できない生徒がいたとも考えられる。
- ・記述式の平均正答率が、短答式 (74.0%) や選択式 (67.2%) に比べて低く、63.9%である。書くことに苦手意識があると考え。

重点課題に対応した改善指導内容及び方法

- ・国語の授業において、敬語に関する問題をはじめとする、言語に重点を置いた帯学習を行う。
- ・小テストや定期試験等で、再度「敬語」の問題を出題し、平均正答率の変化を確認し、改善を図る。
- ・複数の資料から、自分の意見を述べる意見文や、複数の資料を比較し、多面的にものごとを捉える批評文など、「書く」ことに特化した単元や機会を多く設ける。

指導方法等の改善計画について〔数学科〕

坂町立坂中学校

全国学力・学習状況調査 本年度正答率

本校	広島県	全国
62%	57%	57.2%

全国学力・学習状況調査 正答率と本年度の結果について

- ・数学の教科全体の正答率は62%であり、全国や広島県の平均正答率を約5ポイント上回った。領域別にも、数と式74.0%、図形53.9%、関数57.3%、資料の活用58.9%であり、いずれの項目も全国や広島県の平均正答率を上回っている。数学の基礎的な学力は概ね定着している。
- ・問題別では、3問が全国や広島県の正答率を下回った。いずれも記述式の問題であった。

重点課題

- ・グラフや表の特徴を基に理由を説明する際に、データの傾向を捉え、判断の理由を数学的な表現を用いて説明することができていなかった。
- ・図形の性質を説明する際に、説明に必要な複数の事柄のうち、いくつかの事柄が不足していた。

重点課題に対応した改善指導内容及び方法

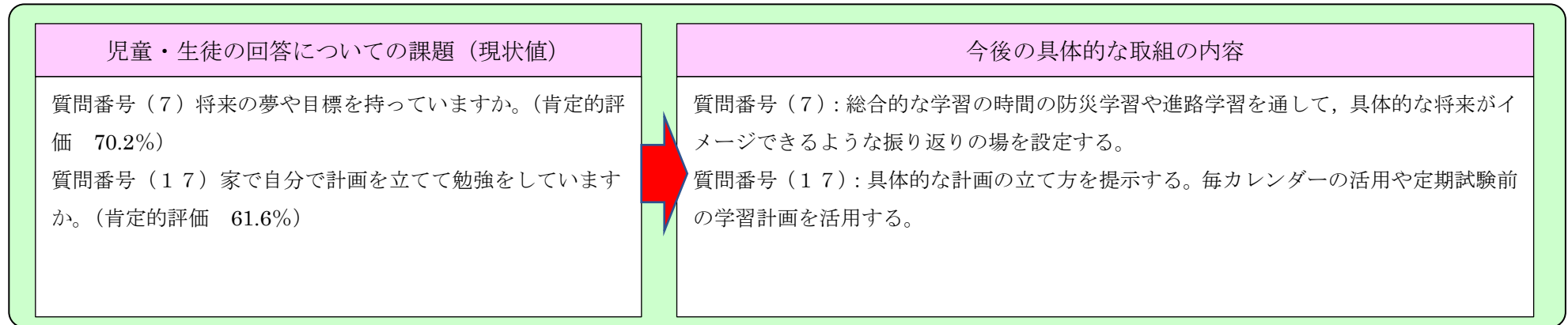
- ・「事柄や事実」、「方法や手順」、「理由」のどれを説明させるのか、区別して指導していく。特に課題であった「理由」を説明する際には、説明の型として「根拠」と「成り立つ事柄」を示すよう指導する。
- ・説明の根拠となる情報を読み取り、記述する必要がある。授業で生徒がデータの傾向を捉えて説明する機会を増やし、定期試験等で評価・分析する。その際に、グラフからわかることを書き出すなど、多様な読み取りを行う活動を取り入れる。
- ・平行四辺形の性質と平行四辺形になるための条件を整理し、理解させる。また2年生の三角形や四角形の様々な定義・定理についても再度確認する。3年生の図形の授業の最初に、1・2年生の図形の内容の小テストを行い、課題を確認し、単元テストで定着を図る。

指導方法等の改善計画について

〔質問紙調査〕

坂町立坂中学校

(1) 生活・学習



(2) 教科

